

# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草

リビングより出でし廊下は熱帯か澱し熱の足にまとわる  
大会に球児は今日も神だのみ朝のしじまにかしわ手聞こゆ  
夜の更けを風の吹くたび風鈴の音が無人の隣家より聞ゆ  
山百合をたわわに折りて壺に生く立秋ひそかに小糠雨降る  
葉月の空入道雲とすじ雲のお見合い仰ぎて秋立つを知る  
玄閑に散乱したるサンダルも次つぎ消えて盆終りたり  
夏バテに良いと聞きたるゴーヤの綿毛スプーンにこそぞ落しぬ  
里山に残る古寺訪ねれば坊守亡きあと藪に覆われて

村上 美幸  
福田キヨ子  
三村 和子  
越智 早苗  
白石 清和  
桑野 昭子  
白石 信子  
福田 昌

はな・露の臺句会

今朝も亦初秋の空を仰ぎけり  
朝散歩行き交ふ人の爽やかに  
存分に初秋の風と歩きけり  
終電車音遠ざかり夏の月  
日がな飛び交ふて気休や盆蜻蛉  
口論の後の沈黙虫の声  
明けやらぬ空に残りし月白し  
生かされて感謝の余生一葉落つ  
白萩や今の生きざま疑はず  
落人の集落染めて秋夕焼

池田一歩選

桑野 園女  
井上タミ子  
永末 公恵  
日高八重子  
松本 三男  
香月 眸  
高津 澄子  
熊谷カツミ  
本島真知子  
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

熱帯夜寝返るたびに夢途切れ  
原発の空は嫌ひと鬼やんま  
敗戦忌古きラジオを修理して  
秋暑し何をすするにも抄らず  
月涼し五分停車の山の駅  
一雨に生き返りたる残暑かな  
振花にねだれの解けぬ風が吹く  
秋蟬の出番待つ間の小声鳴き  
流星の孤独を引きて果てにけり  
秋暑しぼっくり寺に記帳して

岩井鬼童選

建部三由紀  
松岡 蔦枝  
西田 真美  
小川 雪  
長副美恵子  
迫田 昌子  
今井三千代  
家高 恭子  
高山 玲子  
日比生利子

方城句会

文月や疎遠の友に筆めし  
磯の香に紛れてをらず浜おもと  
空青くまだまだつらき残暑かな  
妻恋ふる写経の屏風霊迎へ  
秋の夜や映画は古き原節子  
急逝の友の祭壇走馬灯  
主婦の座は譲りし今も茄子漬くる  
秋日傘開くに惜しき山景色  
英彦山の土産としての新豆腐

池田一歩選

倉石嘉代子  
白石 凡子  
杉 フジエ  
長尾 冴子  
藤井耿之介  
渡邊 一枝  
朝部さよ子  
尾崎 和子  
木村 誠一

## 福智の風

▶「大人の言葉は常に子どもに吸収されている」という岸谷さん(→P.8)の話が印象的で、本屋さんで見つけてすぐ購入した「文章力が身につく本」。あやふやだった言葉の使い分けや、避けるべき表現などが明記され、毎日活用しています。「読む」ことの重要性を示した今月号。同時に「書く」ことへの責任も考えさせられました。(日吉)

▶「みんなと同じことをしても結果は出ないので、練習以外の時も努力しました」今月号の巻頭で紹介した3人のコメントに、感動を覚えた。体格は大人と比べても遜色ないが、表情はまだあとけなさが残る弱冠15歳。しかしながら、3人はすでに成功の秘けつを知っていた。今後の彼らの活躍に期待し、陰ながら応援していきたい。(久原)



1 真剣に石谷選手の話聞く、方城中2年生。  
2 愛用のボールにサイン。地元ファンへのサービスも積極的です。3 部員一人ひとりに声を掛けて個別指導。4 華麗なテクニックを披露。  
5 バスケットの基本となるパス練習。6 さわやかな笑顔で練習を見守る石谷選手。7 方城中バスケット部 24 人にプロのテクニックを伝授。

## Pickup Topics

### プロバスケットプレイヤー石谷聡選手 母校で生徒たちにエールを送る

# 努力の上に 花が咲く

福智町出身のプロバスケットプレイヤーの石谷聡選手が母校に帰郷しました。夢をテーマに、自身の経験に基づいたエピソードを交え、熱弁をふるった貴重な一日。生徒たちは輝く目で石谷選手の言葉に聞き入りました。



8月19日に方城中学校で「先輩にこう」と題した総合学習が行われ、プロバスケットボールチームの「ライジング福岡」で活躍する石谷聡選手が先生となって、授業を行いました。この日参加したのは、進路や就職など、将来の夢を悩む時期である2年生64人。町を巣立ち、全国で活躍する憧れの先輩を心待ちにしていた生徒は、拍手と歓声で石谷選手を迎え入れ、プロからの熱いメッセージに聞き入りました。

「夢を叶えるために大事なことは努力を重ねること。他の選手と同じことをやっても絶対に夢はつかめない。そして、夢は挫折したときや目標を見失ったときに道を正してくれる大事なものと、だからみんな夢を持ってほしい」と、

実際のエピソードなどを交えながら、生徒に助言しました。その後、バスケット部の生徒に、練習方法やボールさばきなどを指導する「クリニック」が行われ、プロ直伝のボール回しや巧みなドリブルを披露しました。「生まれ育った地に、恩返しをしたい」と、語った石谷選手。指導を受けた部員は「石谷選手を目指してがんばりたいです」と目を輝かせて話し、この日の出来事について胸に刻んだようでした。



若きポイントガードとして注目される石谷聡選手(26)。2008年、ライジング福岡に入団。今の夢は「5年目を迎えたチームの初優勝」。